









支出命令書

決裁日 27年 9月 7日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所属	市議会事務局		起票日	平成27年9月7日	整理番号	5472-14
年度	平成27年度	会計	一般会計		予算区分	現年度予算
款	1	議会費			確認事項	確認
項	1	議会費			タイムカード(出勤簿)	
目	1	議会費			源泉徴収	
細目	4	議会調査研究事業			被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金			通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費				
金額	¥1,110			検収者	印	
控除額				支払方法		
債権者	登録No.	99999		支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手	
	住所			金融機関		
	名称	日本共産党代表者 田立 恵子		支店		
	職氏名			預金種別		
				口座番号		
				伺残額	¥509,760	
摘要	広報広聴費		支払予定日	平成27年9月18日		
	議会傍聴よびかけ隊チラシ(8月分) 製作料		支払明細整理番号	007		
	分担金		請求書番号			

上記の金額を領収しました。
平成27年9月18日
年 月 日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 日本共産党代表者 田立 恵子

収入印紙



支出負担行為確認



支払済











2015000547201147

泉大津市



279-7

供	議長	副議長	局長	次長	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成27年 9月 7日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名
代表者名

日本共産党
田立寛子 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	1,110円		
内 訳	議会傍聴よびかけ隊平成27年8月購入分チラシ制作料分担金		
支払先	(株) キングプリンターズ		
予算科目	広報広聴費	交付残額	509,760円
使用者名	日本共産党		

議会傍聴よびかけ隊
平成27年8月購入分チラシ製作経費分担計算書

株式会社キングプリンターズ 大阪府大阪市西淀川区千船2-10-21	
A4チラシ 3,000枚	9,400円(消費税込)①

①÷議員数	9,400 ÷	17人	=	552.9412円②
-------	---------	-----	---	------------

【分担額】

公明党 ②×3人=	1,650円
日本共産党 ②×2人=	1,110円
市民トライネット ②×3人=	1,650円
市民クラブ ②×2人=	1,110円
おづ ②×2人=	1,110円
同志会 ②×2人=	1,110円
立志会 ②×2人=	1,110円
井阪 正信 ②×1人=	550円
合計	9,400円

領収書

領 収 証

No. A 08608

泉大津市議会 様

平成27年8月31日

金額	百	千	円
		9400	

注文番号: 1083582

上記の金額正に領収いたしました

現金	
小切手	
手形	
相殺	

 KINGprinters

株式会社 キングプリンターズ








〒555-0013 大阪府大阪市西淀川区千船2-10-21
TEL:06-6195-2365 FAX:06-6195-2369





取扱者	

支出命令書

決裁日 27年 9月 14日

市長 ****	副市長 ****	教育長 ****	部長 ****	次長 ****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 ****	係長 ****	担当者 田立恵子	入力 	財政課合議 ****		

所 属	市議会事務局		起票日	平成27年9月14日	整理番号	5472-15
年 度	平成27年度	会 計	一般会計		予算区分	現年度予算
款	1	議 会 費			確 認 事 項	確 認
項	1	議 会 費			タイムカード(出勤簿)	
目	1	議 会 費			源 泉 徴 収	
細目	4	議会調査研究事業			被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金			通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費				
金 額			¥30,000	検収者 印		
控除額					支払方法	通常支払
債 権 者	登録No. 99999		支払区分		窓口払い	1.現金 2.小切手
	住 所		金融機関			
	名 称 日本共産党代表者 田立 恵子		支 店			
	職氏名		預金種別			
			口座番号			
			伺 残 額		¥479,760	
摘 要	研究研修費		支払予定日		平成27年10月1日	
	8/21~8/22 第7回生活保護問題議員研修会		支払明細 整理番号		001	
	参加費		請求書番号			

<p>上記の金額を領収しました。 平成27年10月1日 年 月 日</p> <p>泉大津市会計管理者 様</p> <p>住所</p> <p>名称</p> <p>氏名 日本共産党代表者 田立恵子</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 80px; margin: 0 auto;">収入印紙</div> 	<p>支出負担行為確認</p>  <p>支 払 済</p>
--	--	--











2015000547201156

泉大津市



27.9.15

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成27年 9月11日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 日本共産党
代表者名 田立恵子



政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	¥30,000-		
内 訳	生活保才問題議員研修会 参加費		
支 払 先	マツファインサービス 議員研修会事務局		
予 算 科 目	研究研修費	交付残額	¥79,760円
使用 者 名	田立 恵子		

田立恵子様

第7回 生活保護問題議員研修会 領収書 2019年8月2/日

■参加費 ¥15,000円

■1日目 交流会 円

■2日目お弁当代 円

ご領収合計金額 円

マック・チャレンジサポート議員研修会事務局

〒173-0004 東京都板橋区板橋4-4-3白鳩マンション201

TEL 070- 5567- 4771 FAX 03-6912-4854 E-mail

森下 巖 様

第7回 生活保護問題議員研修会 領収書 2015年5月26日

■参加費 1万5000円

■1日目 交流会 円

■2日目お弁当代 円

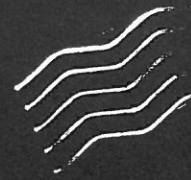
ご請求合計金額 1万5,000円

マック・チャレンジサポート議員研修会事務局

〒173-0004 東京都板橋区板橋4-4-3白鳩マンション201

TEL 070- 5567- 4771 FAX 03-6912-4854 E-mail [redacted]

第7回生活保護問題議員研修会



震災から20年。 神戸で生活保護を考える

1日目(12:30 受付) ▶ 8月21日(金) 神戸市産業振興センター 3階・ハーバーホール









- ミニライブ(自由参加) 12:45 うまかしゅう・河村博司
開会挨拶 13:30 松崎 喜良さん(神戸女子大学教授、公的扶助研究会運営委員)
- 住宅政策の再構築に向けて 13:35 講演1 平山 洋介さん(神戸大学大学院教授)
- 子どもの貧困対策法の意義と課題 15:25 講演2 川松 亮さん(前厚生労働省児童福祉専門官)
- 生活保護支援法律家ネットワークって何? 16:25 特別報告1 吉田 雄大さん(弁護士、近畿生活保護支援法律家ネットワーク事務局長)
- 当事者の声をきく 16:45 特別報告2
- 交流会(自由参加) 18:00 19:00 終了

2日目(9:00 受付) ▶ 8月22日(土) 神戸市立地域人材支援センター(旧二葉小学校)

- 9:15 分科会
- 生活保護なんでもQ&A 第1分科会 第4分科会 生活困窮者自立支援制度の現状・問題点・活用方法を考える
- 生活保護財政と国保財政を考える 第2分科会 第5分科会 子どもの貧困対策と自治体 フィールドワーク
- 福祉事務所職員の専門性と労働条件を考える 第3分科会 第6分科会 地方のできる依存症者支援 震災「復興」の現場を歩く
- 生活保護の現在と在り方を考える 13:00 岡部 卓さん 第3 講演3 (首都大学東京教授)
- ~生活保護基準部会報告書にもふれて
- 生活保護のチカラを活かすために 14:30 尾藤 廣喜さん まとめ (弁護士・生活保護問題対策全国会議代表幹事)
- 15:45 散会

共催：生活保護問題対策全国会議、全国公的扶助研究会、近畿生活保護支援法律家ネットワーク

□決 裁 ■供 覧

受発記号・番号		收受年月日	平成27年9月11日		
差出 名	日本共産党 田立 恵子、森下 巖				
あて 名	泉大津市議会議長			提出期限	
收受文書の記号		收受文書の日付	平成27年9月11日		
件 名	報告書				
	議長	副議長	事務局長	次長	
					合
主 管	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	主査	
					議
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項					
<p>日 時：平成27年8月21日（金）～8月22日（土）</p> <p>出張先：神戸産業振興センター、神戸市地域人材支援センター</p> <p>目 的：第7回生活保護問題議員研修会</p> <p style="text-align: center;">「震災から20年神戸で生活保護を考える」を受講</p>					

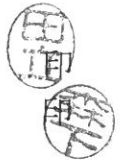
報 告 書

平成 27 年 9 月 11 日

泉大津市議会議長 様

(会派名) 日本共産党

研修会参加氏名 田立 恵子
森下 巖



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1. 日時 平成 27 年 8 月 21 日(金) ～ 8 月 22 日(土)
2. 出張先 1 日目：神戸産業振興センター
2 日目：神戸市地域人材支援センター
3. 目的 第 7 回生活保護問題議員研修会
『震災から 20 年神戸で生活保護を考える』を受講
4. 報告事項 日程、講師は以下の通り
別紙資料を添付

1 日目 (21 日・午後)

講演 1 「住宅政策の再構築に向けて」
平山洋介氏 (神戸大学大学院教授)

講演 2 「子ども貧困対策法の意義と課題」
川村 亮氏 (なくそう子どもの貧困全国連絡会)

特別報告① 「生活保護支援法律家ネットワークって何？」
吉田雄大氏 (弁護士・同ネットワーク事務局長)

特別報告②

当事者報告「30周年を迎えるダルクと今後の薬物依存者回復支援について」
加藤武士 (NPO法人APARI 木津川ダルク代表)

2 日目 (22 日) 午前 : 分科会

第 4 分科会 <出席 : 田立恵子>

報告 : 生活困窮者自立支援制度の現状・問題点・活用法
五石敬路氏 (大阪市立大学大学院創造都市研究科)

第 5 分科会 <出席 : 森下 巖> 子どもの貧困対策と自治体

報告① 貧困のなかでおとなになる～現状と課題

中塚久美子氏 (朝日新聞大阪本社 生活文化部)

報告② 京都での実践について

村井琢哉氏 (NPO山科醍醐こどもひろば理事長)

午後

講演 3 「生活保護の現在とあり方を考える～生活保護基準部会報告書にもふれて」
岡部 卓氏 (首都大学東京大学院教授)

まとめ「生活保護のチカラを活かすために」

尾藤廣喜氏 (弁護士・生活保護問題対策全国会議代表幹事)

所 見

国における生活保護費の生活扶助費、住宅扶助費引き下げなど、社会保障政策の切り下げが進められている中で、今回の研修会ではとりわけ住宅政策に関わって、子どもの相対的貧困率が国民全体の16.1%をはじめて上回り16.3%となった深刻な事態の中で現状や取り組みなど、そして、昨今事故やトラブルなど各地で大きな問題になっている薬物依存に関わって、適切な支援があれば立ち直り更生した当事者の報告、困窮した状態にある人たちを支援する心ある法律家ネットワークの取り組みなどの報告があった。

住宅政策では、1951年の公営住宅法によって低所得者も含め8割の人、誰もが入れられる住宅から、その後収入基準が引き下げられ90年代には25%の人しか対象にならなくなり、しかも着工戸数が減り続ける中で住宅に困っている人、高家賃で生活を圧迫している、その負担ができない未婚の単身者が親と同居せざるを得ない実態など、雇用環境の悪化とともに明らかに急増している。これらを丹念にデータを示して日本の住宅政策の再構築を行なうことを提唱されました。貧困層拡大の状況の中で、住む所という第1義的に必要な人間の生きて行く条件を、国、都道府県、自治体の政策として位置付け直していく必要性を感じた。

子どもの貧困対策では、子どもの貧困対策推進法ができたが、重点施策でも学習支援による負の連鎖からの脱却の色合いが強く、意欲を持ってない状態をどうするのか？乳幼児期の対策はなく、保護者への就労支援ということが強く打ち出されている。しかし、経済的支援な支援には具体的に踏み込まれず、都道府県・市町村での子どもの貧困対策計画の策定にゆだねられてしまっている。ただ、実際の対応は各自治体できめ細かく行うことが重要なため計画決定が求められている。

2日目の分科会では、新聞記者が取材を通じて明らかにしてきた実態を報告された。見えてきた共通なものとして、①希望の喪失・夢が持てない ②虐待・DV・家族の病気 ③いじめ・不登校 ④支援不足・孤立と孤立化も世代間連鎖 かるうじてある食べ物と住まいで「よく食べよく眠る。学校に行く。友だちと付き合う。学校や地域行事に参加する。進学や夢を抱く」などの機会や選択肢が奪われ、子どもの権利条約にある生存、発達、保護、参加など子どもの発達の権利が保障されていない状況がある。ある福祉事務所の窓口で「大学に行く必要ない」「早く働け」など言われたという実例をあげ、「子どもの芽をはじめから摘んでしまう社会ってどうなのか？」と問題を提起された。同じ分科会でNPO山科醍醐こども広場の代表から、「困っている子どもの何に困っているのか？」という視点から、食事や居場所、体験活動、学習支援、保護者会、小中学校へ出向いての放課後支援、土曜教室など活動の幅を広げてきている報告があった。また、貧困に特化したら参加がしにくく、何ができるのかから出来ることをできるペースでつなげて広げていくことの大切さにして、その中で子どもは確実に変化していくという。それぞれの地域で、子どもの置かれている実態を把握し、その要求願いに叶う施策や取り組みが必要とされている。

特別報告の薬物依存当事者から脱却して支援をする側になった加藤氏から、薬物だけでなくアルコールやギャンブルなど依存症というものがその人自身の問題だとみられるが、そのことで生活もできなくなるような状態は、病的、あるいは障がいととれるもので、医療的なケアとカウンセリングだけではなく、ともに同じ境遇のひととともに健康を取り戻して、精神的にも薬物など必要としなくても生きて行くことができることを獲得していくダルクという場、支援の実践報告は感動的でもあった。









生活困窮者自立支援法ができるまでの過程や生活保護制度の見直しに関わった基準部会の報告もあった。命を支えるこうした制度の引き下げの中で、健康で文化的な最低限度の生活とは、どういったものなのか？朝日訴訟以来のこうした歴史的な基準をめぐる動きは、近年母子加算や高齢加算などをめぐる訴訟が続き、声をあげることと、声を上げられない代わりに声を拾いあげるネットワークの弁護士報告は、まさにぎりぎりの生活から命を救ってきたかけがえのない報告だった。

その中でも全国で「餓死」や「孤立死」、痛ましい事件の裏には貧困と孤立があり、行政とつながり生活保護で救える命があったとしています。また、基準引き下げによって非課税基準、年金のさらなる引き下げという事態になってくる。

先進国でも極めて低い捕捉率を引き上げ、餓死や自殺をしなくても安心して生きていける。働いても生活保護基準を上回れないワーキングプアなど低い賃金水準を引き上げ、年金を普通に暮らせる基準に引き上げない限り、生活保護を減らすことはできない。

支出命令書

決裁日 27年 9月 24日



市長 ****	副市長 ****	教育長 ****	部長 ****	次長 ****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 ****	係長 ****	担当者 	入力 	財政課合議 ****		

所属	市議会事務局	起票日	平成27年9月24日	整理番号	5472-16
年度	平成27年度	会計	一般会計	予算区分	現年度予算









款	1	議会費	確認事項	確認
項	1	議会費	タイムカード(出勤簿)	
目	1	議会費	源泉徴収	
細目	4	議会調査研究事業	被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金	通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費		

金額	¥5,973	検収者	印
----	--------	-----	---

控除額		支払方法	通常支払
債権者	登録No. 99999	支払区分	用紙振込 1.現金 2.小切手
	住所	金融機関	
	名称 日本共産党代表者 田立 恵子	支店	
	職氏名	預金種別	
		口座番号	
		伺残額	¥473,787
摘要	通信費	支払予定日	平成27年9月30日
	NTT電話料金(8月分)	支払明細整理番号	小切手支払
		請求書番号	

<p>上記の金額を領収しました。 平成27年9月30日 年 月 日</p> <p>泉大津市会計管理者様</p> <p>住所</p> <p>名称</p> <p>氏名 日本共産党代表者 田立 恵子</p>	<p>収入印紙</p> 	<p>支出負担行為確認</p>  <p>支払済</p>
--	---	--




供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成27年 9月24日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 日本共産党
代表者名 田立恵子 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	5,973円		
内 訳	NTT電話料金(8月分)		
支払先	NTT西日本		
予算科目	通信費	交付残額	473,787円
使用者名	日本共産党		



西日本電信電話株式会社
ビジネスSSC (金沢)

595-0026

泉大津市東雲町9-12

泉大津市役所方
泉大津市 日本共産党議員団 様



TEL(無料) 0120-424923

T920-0963

金沢市 出羽町

4-1 NTT出羽町ビル

社用 201201311001 10122 10122 00*
コード

NTT西日本料金請求書
(NTT WEST-Bill)

平成 27 年 9 月 17 日発行

日ごろ、NTT西日本をご利用いただきましてありがとうございます。
裏面のお支払場所にご請求書をご持参のうえ、お支払いください。

※お問い合わせの際は、番号をよくお確かめのうえおかけください。

料金お問合せ先 ビジネスSSC (金沢)

0120-424923 (無料)

お客さま請求番号	ご請求年月	ご請求額 (Charge)	お支払期限 (Due Date)
[Redacted]	平成 27 年 9 月分	5,973円	平成 27 年 9 月 30 日
ご請求の内訳	金額 (円)	お知らせ	
NTT西日本ご利用分 [合計]	5,973 5,973	詳細については、別添の「ご利用料金内訳書」をご覧ください。	

- お支払期限後に支払われた場合は、年14.5% (1日当たり約0.04%)の延滞利息をお支払いいただく場合もあります。
- ご利用料金の内訳については、次ページをご覧ください。

↓下の部分を切り取り、裏面の各お支払場所にてお支払い願います。 <切り取り線>

電話料金等領収証
(Receipt)

お客さま請求番号

お客さま氏名

泉大津市 日本共産
党議員団 様

金額

平成 27 年 9 月分

5973円

うち、消費税当額

442円

西日本電信電話株式会社

ビジネスSSC (金沢)









料金お問合せ先 (無料)

0120-424923

収入 印紙 貼付 欄		領 収 日 付 印
	(お客さま)	

支出命令書

決裁日 27年 9月 24日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所属	市議会事務局		起票日	平成27年9月24日	整理番号	5472-17
年度	平成27年度	会計	一般会計		予算区分	現年度予算
款	1	議会費			確認事項	確認
項	1	議会費			タイムカード(出勤簿)	
目	1	議会費			源泉徴収	
細目	4	議会調査研究事業			被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金			通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費				
金額	¥2,812.			検収者	印	
控除額				支払方法	通常支払	
債権者	登録No.	99999		支払区分	用紙振込 1.現金 2.小切手	
	住所			金融機関		
	名称	日本共産党代表者 田立 恵子		支店		
	職氏名			預金種別		
				口座番号		
				伺残額	¥470,975	
摘要	通信費			支払予定日	平成27年10月5日	
	インターネット接続料(7・8月分)			支払明細整理番号	小切手支払	
				請求書番号		

上記の金額を領収しました。
平成27年10月5日
年 月 日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 日本共産党代表者 田立 恵子

収入印紙











支出負担行為確認



支払済



2015000547201174


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成27年 9 月 27 日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 日本共産党
代表者名 田立恵子 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	2,812円		
内 訳	インターネット接続料(7・8月分)		
支払先	NTTファイナンス株式会社		
予算科目	通信費	交付残額	470,975円
使用者名	日本共産党		

請求書 (コムご利用分)

595-0026
 泉大津市東雲町9-12

泉大津市役所内
 日本共産党泉大津市議員団 様



015092101060109782

15229



NTTファイナンス株式会社
 〒105-6791 港区芝浦1-2-1

発行年月日 2015年 9月21日発行
 発行会社 NTTファイナンス株式会社
 福岡料金センター
 お問合せ先 0800-3332000 (無料)
 【還付先】
 〒810 福岡市中央区白金1丁目20-3
 -0012 紙与薬院ビル3階
 社用コード R30021311002 15229 15228 00 T
 62 010010 1 1 15090401T

日頃、NTTファイナンスをご利用いただきまして誠にありがとうございます。
 下記に記載の料金をご請求させていただきますので、お支払期限までに裏面に記載されている場所でお支払いをお願いします。

(1 / 2 ページ)

お客様電話番号等 (BILLING NUMBER) お客様番号 (CUSTOMER NUMBER)	請求年月 (MONTH OF ISSUE)	ご請求金額 (TOTAL AMOUNT)	お支払期限 (DUE DATE)
[REDACTED]	2015年 9月ご請求分	2,812円	2015年 10月 5日(月)

お 知 ら せ

【NTTファイナンスからのお知らせ】

*** NTTグループ各社ご請求金額 ***

NTTコミュニケーションズ分ご請求額 2,812円
 (合計) 2,812円 詳細については、「ご請求内訳」をご覧ください。

【NTTコミュニケーションズからのお知らせ】

7079-512-994

※隔月請求のお知らせ

2012年10月ご請求分より、偶数請求月(2月・4月・6月・8月・10月・12月)のご請求額が「3000円未満(税込)」の場合、翌月(奇数月)にまとめてご請求をさせていただいております。
 なお、契約状況等によっては、偶数月であってもご請求させていただく場合がございます。
 (URL) <http://mypage.ocn.ne.jp/ksupport/bill/kakugetsu.html>
 毎月請求を希望される方は、お手数ですが0120-506-100までご連絡ください。
 既にご連絡をいただいたお客さまにも一律ご案内を記載いたしております。あらかじめご了承ください。

電話料金等払込受領証

コムご利用分

ご請求先氏名
 日本共産党泉大津市
 議員団 様

お客様番号
 [REDACTED]

2015年 9月ご請求分

金額(円)
 ¥2,812-

受取人
 NTTファイナンス株式会社








お問合せ先 (無料)
 0800-3332000

領 収 日 附 印
 出納済
 27.10.5
 泉大津支店 印
 大信信用金庫
 収入印紙貼付欄
 (金融機関・CVS用)→お客様

ATMまたはゆうちょ銀行・郵便局でお支払の場合は、左側の枠をお出しください。上記以外でお支払の場合は、切り取らないでください。

支出命令書

決裁日 27年 9 月 25 日

市長 ****	副市長 ****	教育長 ****	部長 ****	次長 ****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 ****	係長 ****	担当者 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	入力 	財政課合議 ****		



所属	市議会事務局	起票日	平成27年9月25日	整理番号	5472-18
年度	平成27年度	会計	一般会計	予算区分	現年度予算

款	1	議会費	確認事項	確認
項	1	議会費	タイムカード(出勤簿)	
目	1	議会費	源泉徴収	
細目	4	議会調査研究事業	被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金	通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費		









金額	¥20,000	検収者	印
----	---------	-----	---

控除額		支払方法	通常支払
債権者	登録No. 99999	支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手
	住所	金融機関	
	名称 日本共産党代表者 田立 恵子	支店	
	職氏名	預金種別	
		口座番号	
		伺残額	¥450,975

摘要	研究研修費	支払予定日	平成27年10月6日
	10/7~10/9 第77回全国都市問題会議参加負	支払明細整理番号	001
	担金(田立議員、森下議員)	請求書番号	

<p>上記の金額を領収しました。 平成27年10月6日 年 月 日</p> <p>泉大津市会計管理者 様</p> <p>住所</p> <p>名称</p> <p>氏名 日本共産党代表者 田立 恵子</p>	<p>収入印紙</p> 	<p>支出負担行為確認</p>  <p>支払済</p>
---	---	--

2015000547201183


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成27年 9月25日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 日本共産党
代表者名 田立恵子 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	20,000円 (10,000円×2人)		
内 訳	第77回全国都市問題会議参加負担金		
支 払 先	東武トップツアーズ株式会社		
予 算 科 目	研究研修費	交付残額	450,975円
使用 者 名	田立 恵子、森下 巖		

会議参加費領収証

田立 恵子 様

金 10,000 円

但、「第77回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

平成27年10月6日

第77回全国都市問題会議実行委員会

会長 加藤久雄

No. 1677



会議参加費領収証

森下 巖 様

金 10,000 円

但、「第77回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

平成27年10月6日

第77回全国都市問題会議実行委員会

会長 加藤久雄

No. 1679